

自然観察会だより

NO. 36

2012/03/24

西三河自然観察会

報告: 松山

「春一番のスマレとツツジのお花見をしよう」

はれ

参加者 22 名

田んぼの畦では、出始めたばかりの草花が小さな花を咲かせています。スズメノヤリは、花が大名行列の毛槍に似て小さいから雀だそうですが、初めは雌花だけ咲いて、受粉してから雄しべが出てくる面白い花です。なぜか解りますか？



ムラサキサギゴケ



スズメノヤリ



ゲンゲ



ヤナギ?のお花



ヒサカキのめ花

ヤナギの仲間は見分けが特に難しく、いつもお手上げ素通りですが、花がポイントなので今がチャンス。すべて雌雄異株である事を知っただけでも一歩前進です。ヒサカキのすごい匂いを楽しみながら、雄花雌花の違いをじっくり観察。



コスミレ



ニオイタチツボスマレ



タチツボスマレ



ハルジオン



ツチグリ

スマレの仲間ですまず見つけたのは、ガードレール下でコスミレ、次に林道沿でニオイタチツボスマレ、そして奥の野原でタチツボスマレ。この見た順番に人為的影響が強→弱になり、そのちょっとした微妙な環境の違いで、見られるスマレが異なる事に気づきました。それぞれに適した環境があり、多様な環境が多様性を育むって事ですね。凄くない？ハルジオンを食べたら春菊味でまあまあいけると皆で発見。土栗も名前は美味しそうですが、見るだけにしときます。



ホソバイヌビワの実



オオバヤシヤブシ



オガタマノキの花びら



シュンラン



キュウリグサ

ホソバイヌビワの実を採って割って見たら、やっぱりイチジクだ。頑張って山奥のオガタマノキを見に行きましたが、すっかり残花。でも地面一面に白い花びらな様子もなかなか綺麗でした。シュンラン花が満開と教えて頂き、皆で見とれてうっとりですが今や稀少品、大事に見守っていきましょう。キュウリグサの可愛さに気づけた人は幸せになります。



ヤマネコノメソウ



ショウジョウバカマ



ゼンマイ



ワラビ



アカガエルとヒキガエル

小川の土手では、ヤマネコノメソウやショウジョウバカマが、見事に咲き誇っています。これら春の花を見てると気分がウキウキしてきます。ショウジョウバカマは、東京の人にとっては高山植物、愛知では低地で見られる事が驚異的な事なんです。皆さん大好きなゼンマイやワラビも出てきたよー。オタマはしっかり孵って勝ち抜き競争開始、春ですね！

咲いてた花

2種類いるのわかりますか？

トウカイトンボ、ノゲシ、ハルジオン、オオバヤシヤブシ、ムラサキサギゴケ、ホトケナギ、ヒメトドリコソウ、キュウリグサ、コスミレ、ニオイタチツボスマレ、タチツボスマレ、ヤブツバキ、ヒサカキ、ゲンゲ、ミツバツチガリ、ナズナ、タネツケバナ、ヤマネコノメソウ、オガタマノキ、ヤナギ?、オオバヤシヤブシ、シュンラン、ショウジョウバカマ、スズメノヤリ、カネネウ 25 種

やはり今年は1週間くらい、花暦が遅れていますね~

目だった実

ウメトドギ、イヌビワ、ホソバイヌビワ、アキ

見つけた鳥

カウ、アオサギ、マガモ、カカモ、カガモ、キジバト、コガラ、ヒヨドリ、ジョウビタビ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、ハシホトカリ 15 種

やはりこの冬は、里に鳥が少なかったな~

次回の予定 4月28日(土)9時 春の里山は、草も木も花ざかり 目標 60種 のんびり花見歩き